

「みみ」「はな」「のど」全ての疾患の 治療に全力で対応して参ります。

1) キーワードは「超高齢社会」と「地域連携」です。



2) 加齢に伴う難聴や嚥下障害診療の需要は右肩上がりです。難聴は認知症の最大の危険因子とされ、嚥下はよく食べよく生きるための根幹です。当科では難聴の診断や治療、嚥下障害の診断からリハビリ指導・重症例に対する外科治療など、超高齢社会にフィットした耳鼻咽喉科診療を提供して参ります。また、私たちは、地域の皆様との連携を何よりも大切に考えております。扁桃周囲膿瘍などの救急診療はもちろんのこと、自院での診療に検査を追加したい場合や、病態のディスカッションなどに当科を是非ご活用下さい。

1) 「鼻副鼻腔疾患」「中耳手術」の診療拡充にも引き続き努めて参ります。

2) 当科では、開院時より比野平恭之客員教授を筆頭に、代々鼻・副鼻腔疾患や中耳疾患の診断と治療に重点を置いています。鼻副鼻腔疾患はナビゲーションシステムや最新のデバイスを用いた内視鏡下鼻副鼻腔手術やアレルギー性鼻炎の外科的治療（レーザー、鼻中隔矯正術・粘膜下鼻甲介切除術・後鼻神経切断術）に加え、生物学的製剤の使用に関しても積極的に取り組んでいます。また、中耳疾患や顔面神経麻痺への外科手術では内視鏡や神経刺激装置を使用して安全かつ高い治療効果を上げています。



本年1月より赴任いたしました。嚥下障害診療や気道管理、耳科手術といった専門を活かし、地域でお役に立てる昭和大学江東豊洲病院耳鼻咽喉科へと発展させて参ります。

耳鼻咽喉科
教授
木村 百合香
(キムラ ユリカ)



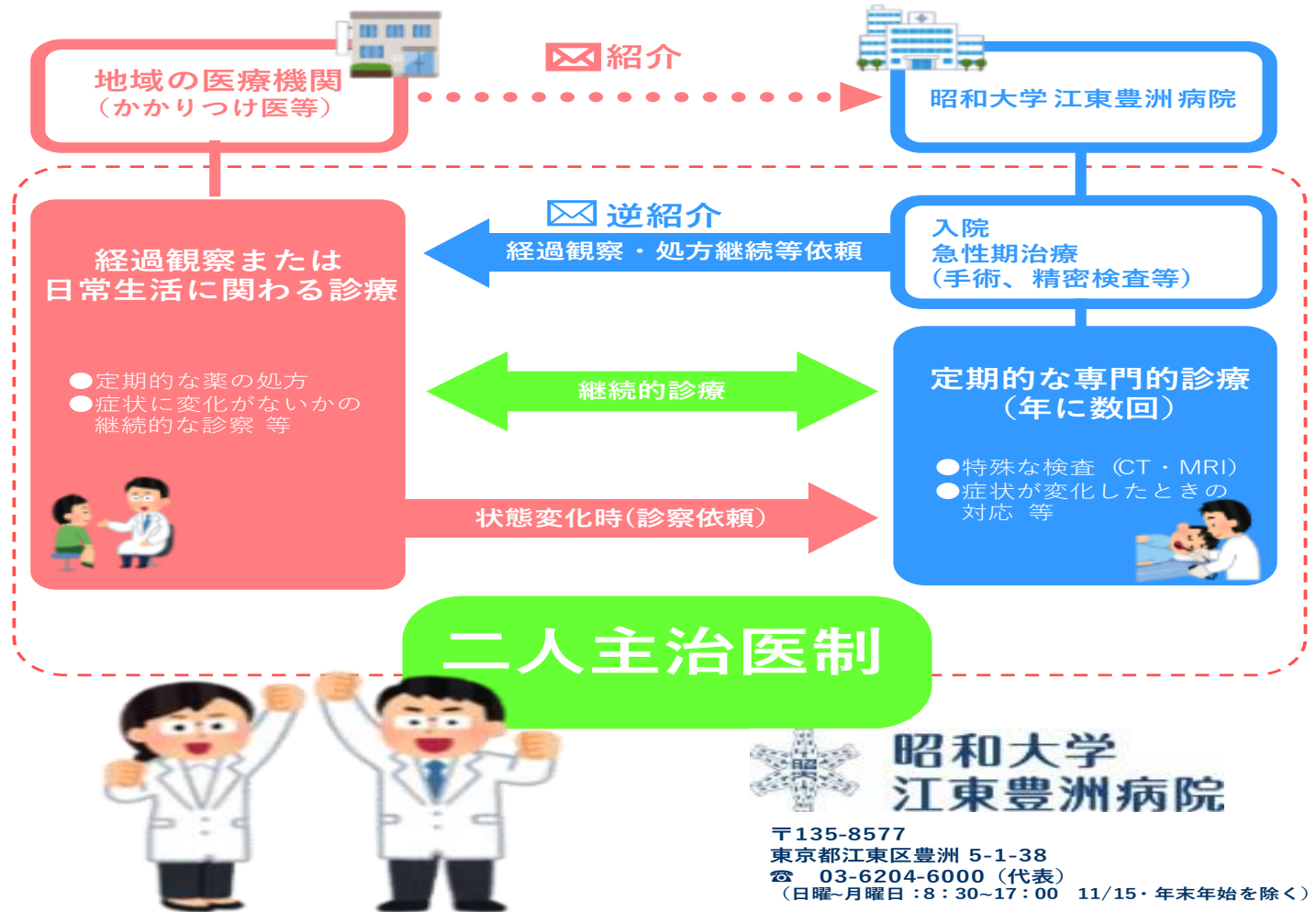
<卒業大学> 東京医科歯科大学 1998年卒
<専門> 嚥下障害・上気道管理・耳科学

二人主治医制のご案内

昭和大学江東豊洲病院では、地域医療連携の取り組みとして、「二人主治医制」を推進しています。

昭和大学江東豊洲病院では、患者さんの健康管理を地域全体で行い、安心して受診いただけるような地域医療連携を推進しています。当院での急性期治療が終了したら、投薬等の経過観察は地域の医療機関へ、定期検査は当院で実施し、**近隣医療機関の医師と当院医師との2人が主治医**となって診療を行います。

双方の医師が紹介状（診療情報提供書）を通して、病状や検査結果など正確な情報を共有して質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。



医療連携室では土日祝日も受付をしています

医療機関からご予約の際は医療連携室までお電話ください



TEL: 03-6204-6130 受付時間: 8:30~17:00



**昭和大学
江東豊洲病院**

《当院の特徴》

- ① **土日祝日も診療** (一部の科除く)
- ② **初診は14:00まで受付**

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38 TEL 03-6204-6000 (代)

